

高等学校 令和6年度（1学年用）教科		芸術	科目 美術Ⅰ	
教科：	芸術	科目：	美術Ⅰ	単位数： 2 単位
対象学年組：	第 1 学年 1 組～			5 組
教科担当者：				
使用教科書：	（ 高校生の美術 1 （日本文教出版）			
教科 芸術	の目標：			
【知識及び技能】	芸術に関する教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。			
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。			
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。			

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形のおよび美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ ・ 映							
1 学 期	【知識・技能】 作品の背景や作者の制作意図について知り、社会とのつながりや理解する。 【思考・判断・表現】 言葉や文章から発想し、フィールドワークを通して、自分なりの表現をすることができる 【主体的】 鑑賞した作品について、自分の考えや感	オリエンテーション 対話鑑賞 ・屋外フィールドワーク	○		○	【知識・技能】作品の背景や作者の制作意図について知り、社会とつながり理解できる。 【思考・判断・表現】言葉や文章から発想し、フィールドワークを通し、自分なりの表現をすることができる。		○	○	○	4
	【知識・技能】色の三属性を理解し12色の色相環をつくることができる。 【思考・判断・表現】色相環や水彩技法を段取りを考え丁寧に絵具で仕上げる ことができる。 【主体的】色による表現の多様性を生かすことができる。自分の課題をみつ け改善しようと努力する態度の育成する	色彩演習 ・絵具による表現 ・水彩技法	○	○	○	【知識・技能】色の三属性を理解し12色の色相環をつくる ことができる 【思考・判断・表現】色相環や水彩技法を段取りを考 え丁寧に絵具で仕上げる ことができる 【主体的】色による表現の多様性を生かすこと		○	○	○	4
	【知識・技能】遠近法について知り、透視図法について理解している。9段階のグラデーションがつくれている。 【思考・判断・表現】グラデーションや線の奥行きで立体を再現することを理解し、自分自身の表現に生かして いる。 【主体的】自分の見方、表現について課題をみつけれ られている。	鉛筆表現 ・グレースケール ・絵画における立体表現、空間表現 透視図法	○	○	○	【知識・技能】遠近法について知り、透視図法について理解している。明暗で9段階のグラデーションがつくれている。 【思考・判断・表現】グラデーションや線の奥行きで立体を再現することを理解し、自分		○	○	○	4
	【知識及び技能】点描技法について知り点描表現の特性について理解できる。 【思考、判断、表現】点描の幅広い表現から発想し、自身の表現に活かすことができる。点描の濃淡で、奥行きや凹凸の表現を描くことができる。 【主体的】点描における自分の課題をみつ け、改善しようとしている。他者の	点描画 ・点描作品と点描表現 ・点描画制作	○	○	○	【知識及び技能】点描技法について知り、点描表現の特性について理解することができ ている。 【思考、判断、表現】点描の幅広い表現から発 想し、自身の表現に活かすことができる。		○	○	○	10
2 学 期	【知識及び技能】コラージュの技法について知り、特性について理解することができ ている。 【思考、判断、表現】コラージュ表現の特性から発想し、自身で主題を生成し 創意工夫し、表現できいる 【主体的】多数のアイデアを出し、主体的 のに取り組む。他者の作品を鑑賞し、	組み合わせでつくる ・コラージュ	○		○	【知識及び技能】コラージュの技法について知り、特性について理解することが できている。 【思考、判断、表現】コラージュ表現の特性から発想し、自身で主題を生成し、創意工夫し、表現でき いる 【主体的】多数のアイデアを出し、主体的の に取り組む。他者の作品を鑑賞し、創意工夫		○	○	○	10
	【知識及び技能】江戸絵画を知り、墨で描かれた線の特徴や良さ、表現の多様性を理解 することができている。 【思考、判断、表現】江戸絵画から発想し、物語の一場面をイメージし、主題を生成して 創意工夫し、表現できている。	墨絵 ・江戸絵画から発想して描く	○		○	【知識及び技能】江戸絵画を知り、墨で描かれた線の特徴や良さ、表現の多様性を理解 することができている。 【思考、判断、表現】江戸絵画から発想し、物語の一場面をイメージし、主題を生成して 創意工夫し、表現できている。		○	○	○	10
	【知識及び技能】様々な形のデザインを知り、形から受ける印象を理解する。彫刻の技法を 理解し、意図に応じて、表現し、道具を正しく安全に使用することができ る。 【思考、判断、表現】 どんな思いをカタチにしたいのか、アイデアを多数出し、試行錯誤して、主題に	カタチのデザイン ・想いをカタチにする		○	○	【知識及び技能】様々な形のデザインを知り、形から受ける印象を理解する。彫刻の技法を 理解し、意図に応じて、表現し、道具を正しく安全に使用することができ ている。 【思考、判断、表現】 どんな思いをカタチにしたいのか、アイデアを多数出し、試行錯誤して、主題に合った形 をデザインし、作品を制作することができ					10
3 学 期	【知識・技能】映像の歴史や原理を理解する。 【思考・判断・表現】学んだ知識やテクニックを生かしてよりよく表現しようとする。 【主体的】他者の表現をよく観察し、客観的に自分をみて自分の個性に気づき 伸ばす。	コマ撮りアニメーション タブレットPC使用		○	○	【知識・技能】映像の歴史や原理を理解している。【思考・判断・表現】学んだ知識や テクニックを生かしてよりよく表現しよう としている【主体的】他者の表現をよく観察し、客観的に自分をみて自分の個性に気づき、 伸ばすことができる。					18 合 計 70

高等学校 令和6年度（2 学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ
 教 科： 芸術 科 目： 美術Ⅱ 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組
 教科担当者：（ 全クラス ）
 使用教科書：（ 高校生の美術 2（日本文教出版） ）

科目 美術Ⅱ の目標：

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅲ

单位数： 2 单位

5 組 (選択必修)

)

の目標：

芸術に関する教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に着つけるようにする。

創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	造形のおよさや美しさ、独創的な表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・彫	映							
1 学 期	【思考・判断・表現】言葉や文章から発想し、フィールドワークを通して、自分の表現をすることができる。 【主体的】気になる色や形、物や風景など、フィールドワークを通して、主	オリエンテーション 対話鑑賞 ・屋外フィールドワーク	○				【思考・判断・表現】言葉や文章から発想して、屋外のフィールドワークを通して、自分のなりに表現することができる。 【主体的】気になる色や形、物や風景など、フィールドワークを通して、主体的に探ることができる。		○	○	6
	【思考・判断・表現】対話的ドローイングを通して、他者が描いた線や色や形から発想して、絵描くことができる。 【主体的】他者が描いた部分に反応し、	ドローイング実習 ・ワールドカフェ形式のドローイングにより、自己だけでは生み出せない表現の可能性を探る	○			○	【思考・判断・表現】対話的ドローイングを通して、他者が描いた線や色や形から発想して、絵描くことができる。 【主体的】他者が描いた部分に反応し、感情や創意工夫を感じ、主体的に描き重ねることが		○	○	4
	【知識・技能】日本画の表現技法の基本と技術を理解する。 【思考・判断・表現】段取りを考え丁寧に絵具で仕上げるることができる。 【主体的】日本画表現を生かし、他者の	水墨画・日本画体験	○			○	【知識・技能】日本画の表現技法の基本と技術を理解している。 【思考・判断・表現】段取りを考え丁寧に絵具で仕上げるできている。 【主体的】日本画表現を生かし、他者の表現の	○	○	○	6
	【知識・技能】建物の歴史、意匠、デザイン、社会や時代とのつながりを理解する。 【思考・判断・表現】他者の意見を聞き、さらに主題を生成し探究すること	「清明亭」をテーマに表現する 「清明亭」について理解を深め、テーマを選択し、探究を深め、関連したテーマで作品あるいはプレゼンボードを作成し、文化祭で発表する。	○			○	【知識・技能】建物の歴史、意匠、デザイン、社会や時代とのつながりを理解できている。 【思考・判断・表現】他者の意見を聞き、さらに主題を生成し探究することで、自らの見方、考え方を広げ、深める。根拠をもって	○	○	○	14
	【知識・技能】自分の選んだ表現技法の基礎的な方法を理解している。 【思考・判断・表現】自分自身を理解し、学んだ知識を使ってよりよく表現しようとしている。計画的に進め完成	自由制作 ・絵画、デザインどちらかの課題を選び、自ら計画し作品を制作する	○	○	○	○	【知識・技能】自分の選んだ表現技法の基礎的な方法を理解している。 【思考・判断・表現】自分自身を理解し、学んだ知識を使ってよりよく表現しようとしている。計画的に進め完成させることができる。計画的に進め完成させることができる。	○	○	○	26
2 学 期	【知識・技能】作品の背景について理解し、社会や時代とのつながりを理解する。 【思考・判断・表現】他者の意見を聞くことにより、自らの見方、考え方を広げ、深める。根拠をもつて考え、言	美術館見学 対面、またはオンラインで作品鑑賞				○	【知識・技能】作品の背景について理解し、社会や時代とのつながりを理解する。 【思考・判断・表現】他者の意見を聞くことにより、自らの見方、考え方を広げ、深める。根拠をもつて考え、言葉や文章でまとめることができる。	○	○	○	4
	【知識・技能】作品の背景について理解し、社会や時代とのつながりを理解することができている。 【思考・判断・表現】他者の意見を聞くことにより、自らの見方、考え方を広げ、深める。根拠をもつて考え、言	対話鑑賞				○	【知識・技能】作品の背景について理解し、社会や時代とのつながりを理解することができる。 【思考・判断・表現】他者の意見を聞くことにより、自らの見方、考え方を広げ、深める。根拠をもつて考え、言葉や文章でまとめる。	○	○	○	10
3 学 期	【知識・技能】作品の背景について理解し、社会や時代とのつながりを理解することができている。 【思考・判断・表現】他者の意見を聞くことにより、自らの見方、考え方を広げ、深める。根拠をもつて考え、言	対話鑑賞				○	【知識・技能】作品の背景について理解し、社会や時代とのつながりを理解することができる。 【思考・判断・表現】他者の意見を聞くことにより、自らの見方、考え方を広げ、深める。根拠をもつて考え、言葉や文章でまとめる。	○	○	○	合計 70